

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 メイコー

コード番号 6787 URL <http://www.meiko-elec.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 名屋 佑一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 石渡 仁

TEL 0467-76-6001

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	32,320	△15.8	448	△77.7	△1,021	—	△828	—
23年3月期第2四半期	38,375	14.0	2,009	29.4	1,289	15.3	873	12.2

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △2,351百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △1,604百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△44.15	—
23年3月期第2四半期	47.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	92,496	30,628	33.1
23年3月期	89,815	32,979	36.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 30,628百万円 23年3月期 32,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	12.00	—	0.00	12.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点において、平成24年3月期における期末配当予想額については未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	7.1	3,500	6.1	2,400	12.8	1,800	—	95.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

本資料に記載されている平成24年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的に算定することは困難であるため、平成23年5月18日に公表いたしました業績予想を変更せずに記載しております。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) |

24年3月期2Q	19,403,320 株	23年3月期	19,403,320 株
24年3月期2Q	629,170 株	23年3月期	629,170 株
24年3月期2Q	18,774,150 株	23年3月期2Q	18,460,558 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・平成24年3月期の配当予想額につきましては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」に記載のとおり業績の状況や経営環境の先行きが不透明であることから現時点では未定とさせていただきます。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

・当社は、平成23年11月24日に機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 追加情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新興国を中心とした成長や各種政策の効果等により堅調な成長を維持したものの、インフレの進行と金融引締めを背景に成長率が鈍化したほか、欧州の財政問題の深刻化や米国の高い失業率と個人消費の減少、またそれらを起因とする円高の長期化など、先行きの不透明感は払拭されない状況が続きました。

一方国内では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び震災に起因した原子力発電所事故の影響により、生産や設備投資が急激に落ち込み、個人消費の低迷が見られましたが、官民挙げた復興の努力によって徐々に回復に向かいました。

当社グループの主要な取引先である自動車業界、エレクトロニクス業界においても、当初は生産設備の損壊やサプライチェーンの混乱により減産を余儀なくされたものの、後半には回復の局面に入りました。しかしながら夏の電力不足による生産調整や円高圧力等により生産体制の見直しが求められるなど、不安定な状況が続きました。

このような状況のもと当社グループでは、海外企業向け販売の拡大に注力するとともに、成長が期待される製品に対する積極的な投資等を進めてまいりました。また、生産についても被災した2工場の生産分を国内外各工場が代替生産を行うことで供給体制を維持するとともに、7月には福島工場の操業再開を果たしました。しかし、顧客企業の減産による受注の落ち込みや円高等が影響し、売上高・利益とも厳しい状況となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、323億2千万円（前年同期比15.8%減）と前年同期に比較して60億5千5百万円の減収となりました。また、損益面は、営業利益が4億4千8百万円（前年同期比77.7%減）、経常損失が10億2千1百万円（前年同期は経常利益12億8千9百万円）、四半期純損失が8億2千8百万円（前年同期は四半期純利益8億7千3百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間の総資産は924億9千6百万円であり、前連結会計年度末に比較して26億8千万円増加しました。主な増減は、流動資産において、現金及び預金が13億8千1百万円増加、固定資産において、有形固定資産が9億9百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間の負債は618億6千8百万円であり、前連結会計年度末に比較して50億3千2百万円増加しました。主な増減は、流動負債において、支払手形及び買掛金が9億5千万円減少、短期借入金が46億3千9百万円増加、固定負債において、長期借入金が23億5千3百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間の純資産は306億2千8百万円であり、前連結会計年度末に比較して23億5千1百万円減少しました。主な増減は、利益剰余金が8億2千8百万円減少、為替換算調整勘定が12億7千6百万円減少しました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比較して13億8千1百万円増加(前年同四半期連結累計期間は6百万円減少)し、38億9千万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比較して1億4千7百万円増加し、2億1千3百万円の資金を得ました。増加の主な内訳は、減価償却費30億5千5百万円、災害損失1億3千5百万円、法人税等の還付額4億4千9百万円であり、減少の主な内訳は、税金等調整前四半期純損失11億4千4百万円、売上債権の増加16億9千4百万円、災害損失の支払額5億9千8百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比較して26億8千8百万円支出が減少し、72億7千5百万円の資金を使用しました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出71億9千8百万円、無形固定資産の取得による支出9千2百万円、収入の主な内訳は、保険積立金の払戻による収入7千2百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比較して15億8百万円減少し、85億3千8百万円の資金を得ました。収入の主な内訳は、短期借入金の純増減額による収入47億5千7百万円、長期借入れによる収入85億8千7百万円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出43億5千7百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の業績予想につきましては、現在一時的に操業を停止している中国武漢第二工場(「3. 四半期連結財務諸表 (7) 重要な後発事象」をご覧ください)の再開時期が未確定であること、タイ王国で発生した大洪水により顧客メーカーの生産調整が懸念されること等、先行きが不透明な状況が続いており、現時点では合理的に業績を予想することが困難であります。

今後の市況や経済環境等を踏まえ、修正予想値が確定次第速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,727	4,109
受取手形及び売掛金	14,634	14,906
商品及び製品	4,379	4,062
仕掛品	2,363	2,793
原材料及び貯蔵品	4,571	3,928
その他	3,219	4,129
貸倒引当金	△12	△11
流動資産合計	31,882	33,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,303	18,371
機械装置及び運搬具（純額）	22,459	24,331
土地	1,944	1,944
建設仮勘定	10,969	7,984
その他（純額）	657	611
有形固定資産合計	52,334	53,243
無形固定資産	608	613
投資その他の資産	4,989	4,720
固定資産合計	57,932	58,578
資産合計	89,815	92,496

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,591	7,640
短期借入金	4,148	8,788
1年内返済予定の長期借入金	9,210	9,826
未払法人税等	78	206
賞与引当金	435	406
災害損失引当金	772	479
その他	6,380	5,389
流動負債合計	29,618	32,738
固定負債		
長期借入金	23,943	26,296
退職給付引当金	1,199	1,195
役員退職慰労引当金	269	261
その他	1,804	1,377
固定負債合計	27,217	29,130
負債合計	56,836	61,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,545	10,545
資本剰余金	12,467	12,467
利益剰余金	14,358	13,530
自己株式	△396	△396
株主資本合計	36,975	36,146
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△105	△227
繰延ヘッジ損益	△204	△327
為替換算調整勘定	△3,686	△4,962
その他の包括利益累計額合計	△3,995	△5,518
純資産合計	32,979	30,628
負債純資産合計	89,815	92,496

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	38,375	32,320
売上原価	32,267	28,194
売上総利益	6,107	4,125
販売費及び一般管理費	4,098	3,677
営業利益	2,009	448
営業外収益		
受取利息	11	8
受取配当金	0	11
助成金収入	80	25
受取保険金	—	50
その他	79	47
営業外収益合計	172	142
営業外費用		
支払利息	371	405
為替差損	348	869
その他	172	337
営業外費用合計	892	1,612
経常利益又は経常損失(△)	1,289	△1,021
特別利益		
固定資産売却益	4	14
特別利益合計	4	14
特別損失		
固定資産除売却損	85	2
災害による損失	—	135
特別損失合計	85	137
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,208	△1,144
法人税等	335	94
法人税等還付税額	—	△409
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	873	△828
少数株主利益	0	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	873	△828

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	873	△828
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	△122
繰延ヘッジ損益	△54	△123
為替換算調整勘定	△2,415	△1,276
その他の包括利益合計	△2,477	△1,522
四半期包括利益	△1,604	△2,351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,604	△2,351
少数株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	1,208	△1,144
減価償却費	3,196	3,055
のれん償却額	31	31
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	1
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	72	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12	△29
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△8
受取利息及び受取配当金	△12	△19
支払利息	371	405
為替差損益 (△は益)	△21	424
有形固定資産除売却損益 (△は益)	80	△11
災害損失	—	135
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,757	△1,694
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,611	45
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,341	△653
その他の資産の増減額 (△は増加)	△97	109
その他の負債の増減額 (△は減少)	756	172
小計	546	817
利息及び配当金の受取額	12	19
利息の支払額	△366	△393
災害損失の支払額	—	△598
法人税等の還付額	—	449
法人税等の支払額	△126	△80
営業活動によるキャッシュ・フロー	66	213
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,010	△7,198
有形固定資産の売却による収入	8	29
無形固定資産の取得による支出	△15	△92
投資有価証券の取得による支出	△610	0
保険積立金の積立による支出	△30	△26
保険積立金の払戻による収入	—	72
その他	△304	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,963	△7,275
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,303	4,757
長期借入れによる収入	8,464	8,587
長期借入金の返済による支出	△4,168	△4,357
割賦債務の返済による支出	△369	△449
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△184	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,046	8,538
現金及び現金同等物に係る換算差額	△156	△95
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6	1,381
現金及び現金同等物の期首残高	4,008	2,508
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,002	3,890

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以降に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当社連結子会社の業務一部停止について

連結子会社である名幸電子(武漢)有限公司の第二工場は、環境アセスメントに係る許認可手続きの問題により武漢市の指導のもと、平成23年10月18日より操業を停止いたしました。現在武漢市の指導のもと是正措置を実施中ですが、是正措置が完了次第操業を再開する予定です。

また、操業再開時期が未確定であるため連結業績に与える影響についても未定であります。